

令和6年度 早苗幼稚園自己評価（担任 22 名）

<園の自己評価>

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1. 保育理念・保育感

1	保育者一人一人が園の保育理念・保育方針を理解している	3人 (13.6%)	11人 (50.0%)	7人 (31.8%)	1人 (4.5%)	0人 (0.0%)
2	一人一人の主体性を大切に保育をしている	7人 (31.8%)	12人 (54.5%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	4人 (18.2%)	16人 (72.7%)	2人 (9.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

2. 保育計画・指導計画

1	保育計画に基づき、子どもの発達や姿を把握して計画を立てている	3人 (13.6%)	13人 (59.1%)	5人 (22.7%)	0人 (0.0%)	1人 (4.5%)
2	未満児は、現在の姿を理解し一人一人に応じた個別計画を立てている	5人 (22.7%)	10人 (45.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	7人 (31.8%)

3. 食育

1	栄養士・保育者が連携し、会議で意見を交わしよい給食になるよう努めている	5人 (22.7%)	11人 (50.0%)	6人 (27.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している	14人 (63.6%)	6人 (27.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (9.1%)

4. 保護者支援

1	保護者と良好な関係を作ろうとしている	10人 (45.5%)	11人 (50.0%)	1人 (4.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	4人 (18.2%)	13人 (59.1%)	4人 (18.2%)	0人 (0.0%)	1人 (4.5%)
3	保護者の状況を理解し、個人情報を保護している	12人 (54.5%)	9人 (40.9%)	1人 (4.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
4	子育てのパートナーとして保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	6人 (27.3%)	13人 (59.1%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

5. 子育て支援

1	地域に開かれた園として、定期的に子育てをしている親子をうけいれている	8人 (36.4%)	11人 (50.0%)	1人 (4.5%)	0人 (0.0%)	2人 (9.1%)
2	子どもの心身の発達や育児不安について、相談できるようにしている	4人 (18.2%)	14人 (63.6%)	2人 (9.1%)	0人 (0.0%)	2人 (9.1%)

<保育者の自己評価>

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善が必要 E:該当なし

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1. 保育計画

1	園の保育目標を理解して、年間計画を立てた	3人 (13.6%)	14人 (63.6%)	5人 (22.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	めざす「子ども像」を実現できるような保育計画を立てた	2人 (9.1%)	14人 (63.6%)	6人 (27.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

2. 保育実践

1	園の保育目標を理解して、実施しようと努めている	3人 (13.6%)	16人 (72.7%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	めざす「子ども像」を意識して保育に取り組んでいる	3人 (13.6%)	17人 (77.3%)	2人 (9.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

3. 環境づくり

1	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	4人 (18.2%)	14人 (63.6%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	1人 (4.5%)
2	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	4人 (18.2%)	14人 (63.6%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	1人 (4.5%)

4. 子どもへの関わり

1	一人一人を大切に関わっている	9人 (40.9%)	9人 (40.9%)	4人 (18.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	一人一人の子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっている	10人 (45.5%)	11人 (50.0%)	1人 (4.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

5. 保護者対応

1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	8人 (36.4%)	14人 (63.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
2	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	4人 (18.2%)	15人 (68.2%)	3人 (13.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

～ 総 評 ～

全体的な数値を昨年度と比較して、各項目それぞれ保育士の自己評価観が高まっているのが見受けられる。

評価の示す内容に関して、以前は少し不確かな気持ちや、断言するには気後れしてしまう一面も散見したが、次第に各項目の意図するところが理解出来るようになり、以前に比べて積極的に自己判断出来る状況になっている。

また、各種キャリアアップ研修を履修していることで、自身の保育を振り返る中で再評価が出来るようになったと考えられる。

また、認定こども園では各保育士が担当する児童も1～3号に分かれている為、自身の関わり以外の項目もあるので、Eの『該当なし』を選択するケースが増えている。このことも設問の意味や意図についての理解度が増した事に起因すると考えられる。

早苗幼稚園の教職員については、子ども一人ひとりに寄添った丁寧な保育を心掛けているが、自己評価観も今後更に高まる事に期待したい。